

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-42

部門名： カリキュラム・マネジメント実践部門	エントリー名： 埼玉県立上尾橋高等学校 小泉 仁 (平成 30 年度第 5 回中堅教員研修) 埼玉県立幸手桜高等学校 (平成 3 0 年度所属校)
活動名： 主タイトル 主体的な学びを引き出す 副タイトル 社会で必要とされる力の育成	
解決すべき課題： ・主体的な学びを引き出すためには、生徒自身による気づきが必要であり、今までのような暗記中心の知識習得型から知識活用型の教育へと変わらなければならない。 ・所属校は商業系の高校で、検定取得のための授業内容が多く見受けられる。しかし、このような授業・学習では、これからの社会・ビジネスにおいて必要とされる「様々な問題に自ら立ち向かい、多様な他者と協働して、最適な解決方法を探り出していく力」、「様々な知識や情報を活用・発揮しながら自分の考えを形成したり、新しいアイデアを創造する」という能力を身に付けることはできない。 ・特にビジネスに必要とされる能力は、現在の社会状況を踏まえると、商業系の高校よりも、むしろ普通科・総合学科高校において学ぶ必要がある。 ・「何ができるようになるか」、そのために「何を学ぶか」に加えて「どのように学ぶか」という視点が大切であるが、「どのように学ぶか」に焦点を当てた。	
目標・方針： 3 年間をとおして 1 年次 知る・気づく SDGs に関する学習等 地域産業に関する学習等 ➡ 2 年次 学ぶ・体験する 地域連携学習 インターンシップ等 ➡ 3 年次 提案する ビジネスツールを活用した学習 ビジネスアイデア等	
活動内容： 2015 年に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための 17 の国際目標「SDGs」について学習し、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等による予測困難な時代の中で、生徒に自己の在り方・生き方を考えさせる。また、SDGs・地域産業に関する学習をとおして、世界・地域のあらゆる出来事が自分の日常生活と繋がっていることに気づかせる。そして、全ての学びがそのことに繋がっており、今自分自身にできること、やることを考えさせる。 ・「大学生活を体験する」校外学習にて、大学教授による SDGs についての講義を受講する。 ・「産業社会と人間」(2 単位)にて、埼玉県国際交流協会から講師を招き、「SDGs とは」、「ギニアの抱える問題」について、講義を受講する。 ・続いて、「SDGs における課題を体験しよう」グループワークを行う。 ・公認ファシリテーターを招き、カードゲーム「2030 SDGs」を行う。	
活動の成果： ○生徒アンケート ・世界のために、自分ができることがあるのだとわかりました。 ・私たちにあって当たり前な生活ができない人が、たくさんいると知って考え方が変わりました。 ・水や食べ物もろくに食べられない人もいる現状や、いじめ・暴力がある世界が嫌になったので、世界中の人々が健康で平和な世界になってほしいと思った。 ○参観者アンケート(教育委員会、地元企業、近隣の中学校教員) ・日本印刷産業連合会(業界)においても、企業の社会的責任で、あたりまえのことで達成可能であり、	

実践すべきことである。と共通の目標となっております。その目標を学生がどのように学んでいるか知るところを目的として参観しました。

アピールポイント(アイデアや工夫)：

- ・ちょっとした気づきにより、生徒は世界のこと、身近なことへの見方・考え方を変えることができ、日常生活や様々な学習へとつなげることができる。
- ・「SDGs」に関する学習は、全校種、大学、地域の企業が取り組むべき課題であるため、これをきっかけに全校種、大学、地域の企業、外部の教育資源との連携事業がさらに深めることができる。
- ・特定の教科だけが担当するものではなく、全教職員が担当できる教科横断的な内容であるため、教育の質を向上することができる。
- ・この事業をきっかけに他教科の教員とより多くコミュニケーションをとれ、教員同士の理解が深まり、より良いチーム学校になる。
- ・身近な取り組みやすいテーマにより、様々なグループワーク・地域連携学習で学び、体験することができ、2・3 年次の「総合的な探究の時間」や 3 年次の「課題研究」などへつなげることができる。

<写真、図表添付欄> 1～4 グループワーク 5・6 カードゲーム「2030 SDGs」



3 生徒アンケート(1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない)

